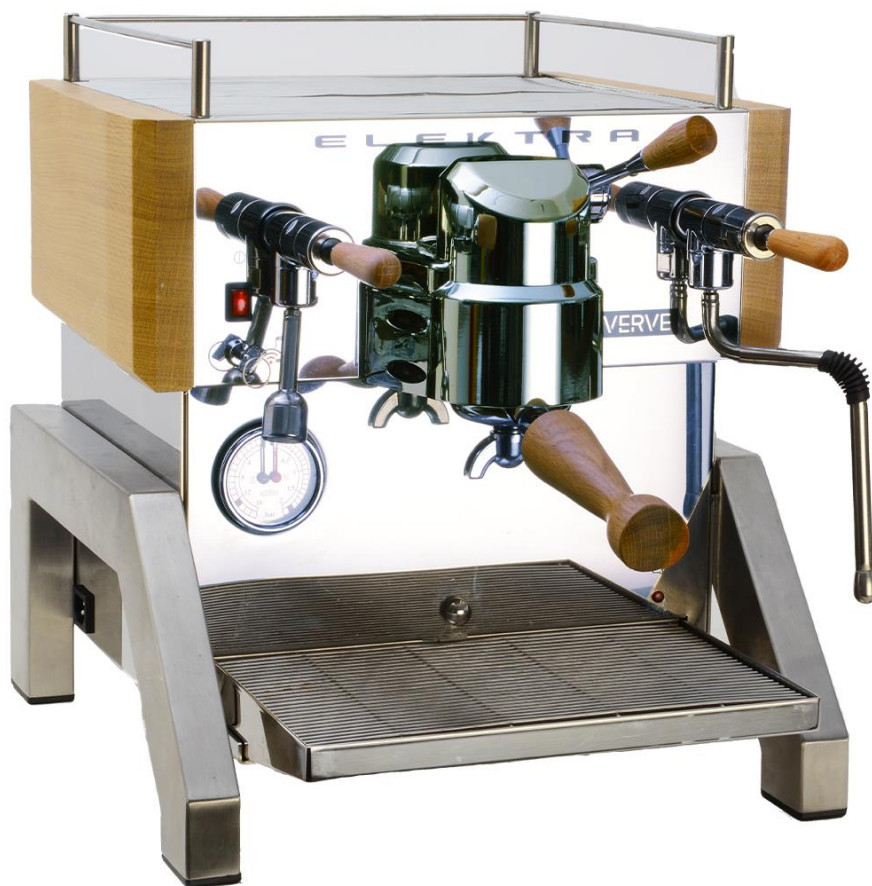


ELEKTRA
ITALIAN ESPRESSO COFFEE MACHINES SINCE 1947

VERVE

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

内容

安全上のご注意.....	3
仕様.....	5
付属品と設置について.....	6
準備.....	8
操作方法.....	9
クリーニング.....	10
Wi-Fi接続方法.....	11
トラブルシューティング.....	16
保証とアフターサービスについて.....	17

お客様へ

この度は、当社のコーヒーマシン「VERVE(バーブ)」をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要なときに見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うなどの人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 本製品(電源コードや電源プラグを含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外には絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、本製品が正常に作動せずに水漏れや感電、火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本製品を改造しないでください。感電や火災、水漏れの原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本製品の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切るときや電源プラグを抜くときは、感電や火傷に注意してください。)
- 本製品の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- 本製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断器が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本製品の電源プラグを抜いて販売店もしくは弊社コールセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本製品に水がかかる、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 本製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 本製品の点検やお手入れをするときには、取扱説明書に従い、主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しするときには、電源プラグや電源コードの取扱いに十分注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間本製品を使用しないときには、本製品の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、電源プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。

- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付け、取外しまたは清掃をするときには十分に温度が下がった状態で行なってください。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいるなど正常に動かないときには作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初に本製品側に電源コードを差し込んだ後で電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 本製品の主電源スイッチをオフにしてからコンセントから電源プラグを取外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されているときには十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- 本製品は業務用の機器です。

据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所、または、訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本製品に供給する電源の工事を行なう場合には電気設備工事の専門技術者が行ない、電源の容量の確認を行なうなど、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 据付を行なうときには、本製品の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしったりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- コンセントは単独で使用し、他のプラグと一緒に接続しないでください。



注意

- 設置および据付を行なう際には本製品を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に本製品の重量に耐えられる場所に置いてください。不安定な場所に置くと落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業や本製品の洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に置くか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本製品の周囲に熱がこもらないように周囲の壁や家具や他機器などから 10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には 0.5 メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁などの減圧器を使用してください。
- 水道に直結で使用する際は、スケール抑制できる軟水器の設置をお奨めします。
- 水タンクで使用する際は軟水フィルターを使用し、フィルター交換サイン点滅時は交換してください。

操作を行なうときの注意事項



警告

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはスチームノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにスチームノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- 電源スイッチや電源プラグは水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。



注意

- 初めて使用するとき、数か月以上使用しなかった後は、食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、スチームノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- 外した部品は食器乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- 本製品を正しくお使いいただくために、当説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態で本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- 0℃以下になる室内外に水系統から水抜きをしないまま本製品を放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 本製品の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。
- 本製品の清掃には、アルコールなどの薬品は使用しないでください。

仕様

寸法	幅 380mm x 奥行 449mm x 高さ 425mm
定格電圧	単相 AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1400W
重量	27kg
使用環境温度	5～35℃
保管環境温度	-10～60℃ (ただし低温帯は水を抜き凍結させないこと)
電源コードの長さ	約 1.5m
ボイラー容量	1.6L(スチーム) / 0.14L(コーヒー)
ボイラー圧力	0.8 ～ 1.2 bar (0.08 ～ 0.12 MPa)
ポンプ圧力	8.0 ～ 9.0 bar (0.8 ～ 0.9 MPa)
許容水圧	最大 5bar (0.5 MPa)
水タンク容量	5.0L
装置設定方法	携帯端末から Wi-Fi 接続しブラウザにて操作

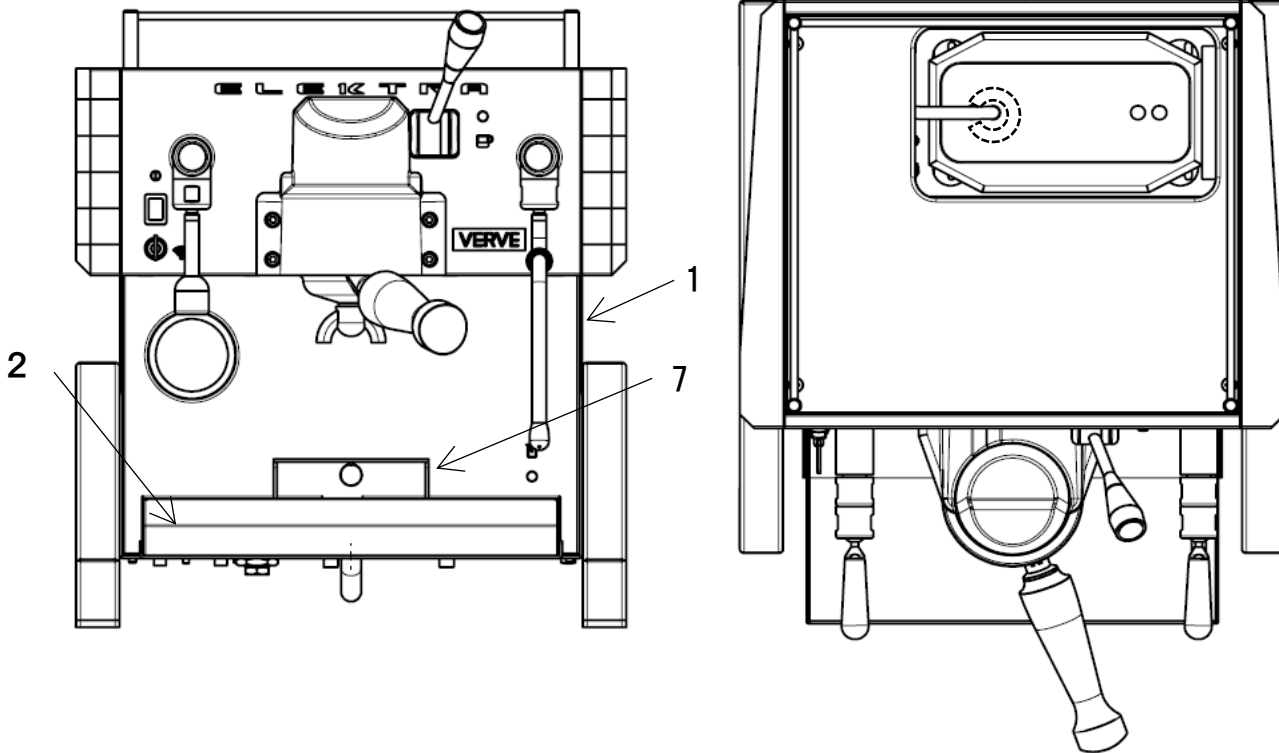
※本製品の設定には Wi-Fi 接続が必須になります。











付属品と設置について

1. 本製品と付属品

正面図

上面図 8



3	4,5	6	9	10
				
11	12	13	14	15
				

① 本製品	1 個	⑨ 軟水フィルター(水タンク式のみ)	1 個
② 排水トレイ	1 個	⑩ Wi-Fiキー	2 個
③ フィルターホルダー	1 個	⑪ タンパー	1 個
④ シングルフィルター	1 個	⑫ 取扱説明書	1 冊
⑤ ダブルフィルター	1 個	⑬ 給水ホース(水道直結のみ)	1 本
⑥ ブラインドフィルター	1 個	⑭ 排水ホース	1 本
⑦ すのこ台	1 個	⑮ 清掃用ブラシ	1 個
⑧ 水タンク/フタ	1 個		

2. ご使用前の準備

■水道直結式の場合

- 弊社サービスマンにお任せください。

■水タンク式の場合

- 給水チューブを本製品付属の軟水フィルター上部の給水部突起に挿して接続し、お使いください。
- 軟水フィルターで浄化できる水の量には限りがあります。2000 杯の抽出が行なわれますと、本製品右下の赤い水タンクアラートランプが点滅してフィルター交換時期をお知らせします。点滅したらすぐに軟水フィルターの交換をお願いいたします。点滅は Wi-Fi 接続のフィルターサインリセットで停止できます(16 ページ参照)。フィルターのお求めは弊社コールセンターまでお問い合わせください。

軟水フィルターと
給水ホースを接続



【注意】 水タンクに水を補充する際は、上面すのこを外しフィルターを水タンクから出し、本製品から水タンクを取り出して実施してください。本製品に入れたままの状態では注水すると本製品中に水が入り故障の原因となる可能性があります。

水が入っていても量が少ないとセンサーが反応せず水タンクアラートが点灯する場合があります。水タンクに水が入っていても水タンクアラートが点灯するようでしたら水を追加してください。

■新しい軟水フィルターの使用について

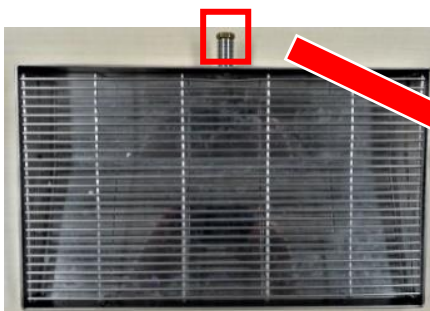
- 新しい軟水フィルターを使用される場合は、本体を水ですすいでからコーヒーマシンに接続します。その後少なくとも 1 回ポイラーが空になるまでお湯を出してフィルターに水を巡回させます。

【注意】2000 杯の抽出でフィルター交換アラートが出ますが 2000 杯抽出前でも使用開始からから 2 カ月経過しましたら交換をお願いします。

■排水の設定

- 排水は、排水をトレイに溜める方式と排水直結のどちらかを選択いただけます。
- 排水直結を行なう場合は、トレイの後ろにあるネジを外して付属の排水ホースなどで排水口と接続します。ホースの曲がりは極力小さくし、下側に傾斜させ水を排水施設に流れ易くし防臭キャップ、またはビニルテープなど据付実施してください。

排水トレイ後ろの排水口



ネジを外す

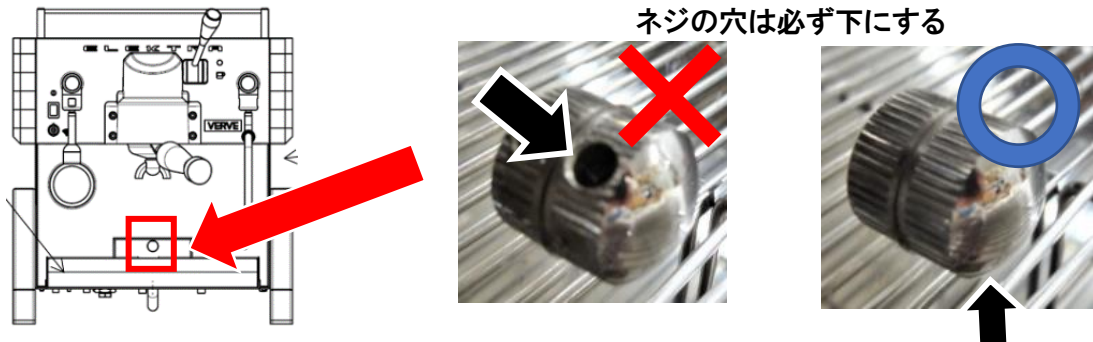


排水ホースをつける



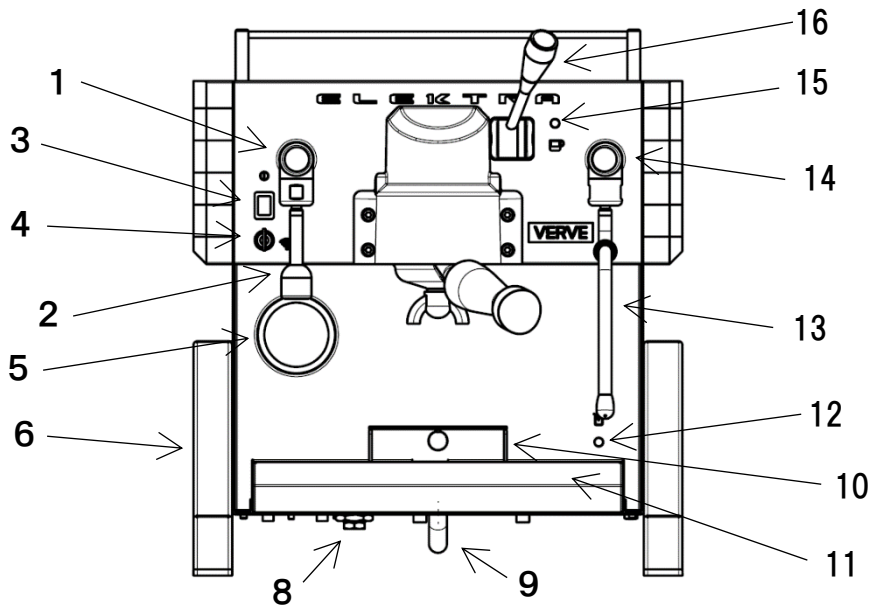
【注意】 排水直結仕様で弊社サービスマンが設置した場合、接続部を結束バンドで固定することから、排水トレイは外せなくなります。清掃は本製品にトレイを接続した状態で実施となります。

【注意】 排水トレイを固定するネジは、抽出時の圧力を逃がす排出口になります。抽出中にスチームが飛び出す場合がありますので、排出口は必ず下に向けて排水トレイを固定してください。



準備

1. 各部名称



- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1) お湯抽出レバー | 9) 排水ノズル |
| 2) お湯抽出口 | 10) すのこ台 |
| 3) 主電源スイッチ | 11) 排水トレイ |
| 4) Wi-Fi キー差込口 | 12) 水タンクアラートランプ |
| 5) ポンプ圧(左)/ボイラー圧(右)デュアルゲージ | 13) スチームノズル |
| 6) 電源ソケット | 14) スチームレバー |
| 7) フィルターホルダー | 15) ヒーターランプ |
| 8) 給水ノズル | 16) コーヒー抽出レバー |

2. 事前確認

・使用前の確認

- (1) 電源プラグが正しくコンセントに接続されているか確認してください。
- (2) 給水ホースが正しく水道に接続されているか、水道の栓が開いているか確認してください。水タンクをご使用の場合はタンクに水が十分入っているか、給水ホースは軟水フィルターに接続されているか確認してください。
- (3) 水漏れが発生していないか確認してください。
- (4) 主電源スイッチを押し、スイッチが赤く点灯していることを確認してください。
- (5) コーヒー抽出レバーを 3 秒以上、下に押しお湯を抽出してください。
- (6) ヒーターランプがゆっくり点滅し、ボイラーが加熱開始したことを確認したらスチームのレバーを下に倒してください。(ヒーターランプの点滅が行なわれていない場合、湯抽出時間が足りない可能性があるため再度コーヒー抽出レバーを 3 秒以上押しお湯を出してください)。
- (7) スチームノズルから蒸気が出始めたらスチームのレバーをスチーム停止位置まで戻します。
- (8) ヒーターランプ消灯後、ボイラー温度が設定 (後述 Wi-Fi 端末で設定、デフォルト 90°C) 値に達したことを示し抽出可能になります。設定値と周囲温度にもよりますが抽出可能になるまで 20 分程度かかります。

・お湯抽出の確認

- (1) ボイラー圧デュアルゲージが 0.8 ~ 1.2bar であることを確認します。
- (2) お湯抽出レバーを動かし、お湯が出ることを確認します。
レバーは上下左右どの方向でもお湯が出ます。傾きによりお湯の出かたは変わります。

⚠ 【注意】お湯の抽出による火傷には十分気を付けてください。

・スチームの確認

- スチームレバーを動かして蒸気が出ることを確認します。
レバーは上下左右どの方向でもスチームが出ます。傾きによりスチームの出かたは変わります。

⚠ 【注意】: 蒸気による火傷には十分ご注意ください。

⚠ スチームノズルの金属部は高温になります。動かすときは黒いカバーの部分に触ってください。

・コーヒー抽出の確認

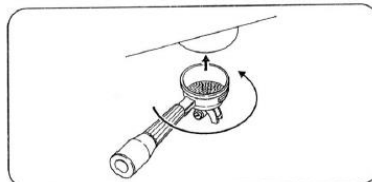
- (1) コーヒー抽出レバーを下に押し、ホルダー差込口からお湯が出ることを確認して元の位置に戻します。

操作方法

1. 抽出の操作

- (1) コーヒー粉を入れたフィルターホルダーを本製品にセットします。下図のようにハンドルを斜め左からホルダー差込口にはめて、右方向へハンドルが正面で止まるまで回すことでセットできます。


フィルターホルダーのセット



- (2) セットしたフィルターホルダーの下にカップを置きます。
- (3) コーヒー抽出レバーを下に押し、コーヒーを抽出します。提供量になりましたらレバーを上へあげ抽出を終了させます。


2. スチームの抽出

- スチームレバーを上下左右に倒すとスチームが抽出されます。必要量が出されたらレバーを元の位置に戻します。スチームチップ中にミルクなどが残らないように2、3回空ぶかしをします。

 スチームノズルの金属部は高温になるため、取扱いには十分注意してください。

3. お湯の抽出

- お湯抽出レバーを左右上下に倒すことでお湯が抽出されます。必要量が出されたらレバーを元の位置に戻します。

 お湯抽出口は高温になるため、取扱いには十分注意してください。レバーの倒し方でお湯は勢いよく抽出されることがあるので火傷などに注意してください。

【注意】お湯を大量に抽出するとボイラー圧力が急激に低下し、圧力が再び回復するまでお湯とスチームの抽出ができなくなります。大量のお湯の抽出は、ボイラー圧力(デュアルゲージの右側)を見ながら行ってください。スチームボイラーに給水後、ボイラーは過熱を開始しますがこのとき緑のヒーターランプは点滅しません(緑のヒーターランプはコーヒー用グループボイラーの準備を示すため)。給水後のお湯、スチーム抽出はボイラー圧力(デュアルゲージの右側)を見ながら行ってください。

4. 水タンクへの給水(水タンク式の場合のみ)

- 水タンクで使用している場合、水がなくなると本製品正面右下の赤い水タンクアラートランプが点灯します。
- 点灯が確認されたら、水を給水してください。

【注意】赤い水タンクアラートランプの点滅はフィルター交換アラートとなります。16 ページをご参照ください。

5. 排水トレイの脱着

- 排水ホースを使用せずトレイに排水を溜めてお使いになる場合、排水トレイの脱着が必要になります。
- 排水トレイは約 2.0L の水を溜めることができますが、こぼして火傷をする可能性を避けるため一杯になる前に早めに排水を破棄してください。

【注意】排水トレイを外すときは以下のことに注意してください。

- 抽出口からお湯がたれてくる可能性があるため火傷に気をつけてください。
- 抽出やクリーニング直後は、排水トレイ固定ネジ自体が熱い場合もあるので火傷に気をつけてください。
- 排水トレイ固定ネジを回して排水トレイを外します。ネジを回さず無理やり引き抜かないでください。
- 排水トレイを戻したら必ず排水トレイ固定ネジを正しい位置に戻してください。排水トレイ固定ネジは抽出時の圧力を逃がす排出口の役割も兼ねています。正しい位置に戻さない場合、抽出時にスチームが飛び出す場合があります。8 ページを参照ください。
- 排水トレイ固定ネジが回しにくい場合、トレイの先を少し上に持ち上げて回してください。



トレイの先をすこし持ち上げてネジを回す

クリーニング

コーヒーマシンを清潔に保つため、清掃は必ず毎日営業終了後などに行なってください。

1. 抽出口とホルダーの清掃（1日の営業終了後）

- (1) フィルターホルダーから抽出用フィルターを外し、付属のブラインドフィルターに交換します。
ブラインドフィルターへの取り換え方



- (2) クリーニングタブレットを1錠ブラインドフィルターに入れ、フィルターホルダーを本製品にセットします。
(3) 約5秒の抽出を10回繰り返します。
(4) フィルターホルダーを本製品から外し、30秒の抽出を行ないます。その後30秒待ってから、再度30秒の抽出を行なってグループ(抽出口)をすすぎます。
(5) すすぎが終了したらブラインドフィルターを外して抽出に使用する通常のフィルターに交換します。

2. シャワースクリーンの清掃（1日の営業終了後）

- (1) 付属のブラシなどでグループ(抽出口)の中のシャワースクリーンをブラシで洗い流します。
(2) 清潔なクロスなどできれいに拭き取ります。

シャワースクリーンを
ブラシで清掃する。



3. フィルターホルダーとフィルターの洗浄（1日の営業終了後）

- (1) フィルターホルダーとフィルターは1日1回、付属のブラシで汚れを洗い流してください。

※上記(1)とは別に、抽出量が500杯を超えると緑のヒーターランプが常時点滅しクリーニングの時期をお知らせするクリーニングアラートを表示します。このアラートが出る、もしくは、マシンの汚れが気になりましたら以下(2)のフィルターホルダーとフィルターの洗浄をお願いします。

- (2) フィルターとホルダーを分解しクリーニングタブレットを400mlの水またはぬるま湯で薄めた洗浄液に20~30分つけてください。

【注意】木の部分は破損の原因になるので洗浄液に触れないようにしてください。

- (3) 水で十分に洗い流してください。

洗浄液につけ置き



4. 水タンクの洗浄（1日の営業終了後）

- (1) タンク内の水を捨て、中性洗剤とスポンジで清掃してください。
(2) 軟水フィルターがぬめりなどで汚れている場合は、洗剤をつけないスポンジでこすり流水で汚れを流してください。

5. スチームノズルの清掃（使用する度）

衛生管理及び品質保持のため、スチームノズルをミルクに浸した場合必ず毎回実施してください。

- (1) 湿らせた布や清潔なクロスなどでノズル先端のミルクをふきとります。
- (2) 水を入れた容器にノズル先端を入れ、1回 3 秒間の抽出を 3 回以上繰り返します。
- (3) 空ふかしを 5 秒以上行ないます。

※ミルクの固着がある場合は、洗浄剤のご使用をお勧めします。

- (1) 容器にミルクチューブクリーナー 30 cc とお水 300 cc を入れます。
- (2) スチームノズルを浸して 5 回ほど上下に動かし馴染ませます。
- (3) 馴染ませた後、数回に分けてスチームノズル動かします。
- (4) すすぎのため、水 300 cc を準備して、(3) を行ないます。
完了後、スチームノズルを拭き取り終了します。

湿らせた布で
ミルクを拭き取り

水を入れた容器にノズル先
端を入れて抽出を繰り返す



Wi-Fi 接続機能

- VERVE は Wi-Fi 接続による一部のリモート操作機能を有しています。

接続には特別なアプリケーションの導入は必要ありません。端末にウェブブラウザ機能があれば、Android や iOS 等の OS の違いやバージョンなども気にせずご利用いただけます。

【注意】以下の機能は Wi-Fi 接続でのみ可能です。接続には Wi-Fi キーが必要となりますので紛失には注意してください。

■ Wi-Fi 接続でできること

1. 状態の確認(抽出可能、ヒーティング中、水タンク不足など)
2. 蒸らし時間の設定
3. ボイラー温度の設定
4. フィルター交換アラート・クリーニングアラート、抽出杯数のリセット
5. 給水モードの設定
6. 夜間待機時間の設定
7. 取扱説明書(英文)のダウンロード

■ 携帯端末と VERVE の Wi-Fi 接続方法

1. VERVE の電源が投入されていることを確認します。
2. Wi-Fi キーを本製品の Wi-Fi キー差込口に入れて右に回し、アクティブにします。
3. 携帯端末の Wi-Fi 接続を表示させ、SSID が Elektra-xxxxx (xxxxx はアルファベットと数字の組み合わせ 5 桁)を選択します(右の画像は iPhone の例)。



SSID マシン固有値

- ・ SSID はマシン固有の値になります。
- ・ 1台の携帯端末で同時に接続いただけるのは1台のみになります。本製品を複数ご使用の場合は、操作いただく対象をこの SSID で識別し、1台ずつ接続のうえ操作いただくことになります。
- ・ マシンの識別は排水トレイを外していただき、右下にあらわれる銘板に記載されているシリアル番号 (MAT.表記の下の 6 桁の数字)をご参照ください。

4. 接続されると以下の画面が表示されます。

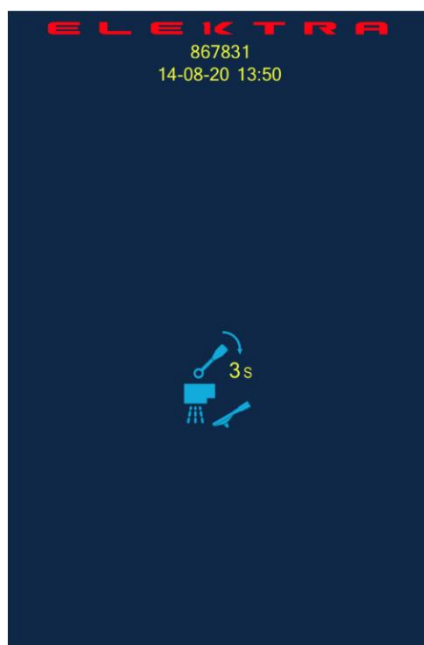


<Wi-Fi 接続について>

- Wi-Fi 接続は VERVE がサーバーになって端末からの接続を受け付けます。1台のマシンは1端末からの接続のみ受け付け、1 台の端末から接続を受けると他の端末からの接続を拒否します（常に1台のみ接続が許可されます）。
- Wi-Fi 接続の内容は5 ページあり、左右のSwipeで切り替わります。各ページの内容は、マシンの状態で都度変化します。
- Wi-Fi 接続を行なうためには Wi-Fi キーが必要となります。紛失しないよう保管ください。

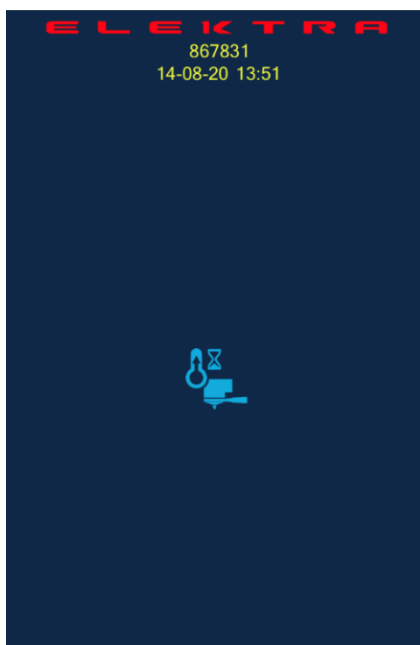
■1ページ目の内容とマシンステータス

電源投入直後



電源投入直後でボイラー加熱前の状態です。3 秒レバーを倒してお湯を出し、ボイラーの加熱開始を促しています。
(9 ページ「使用前の確認」参照)

ボイラー加熱中



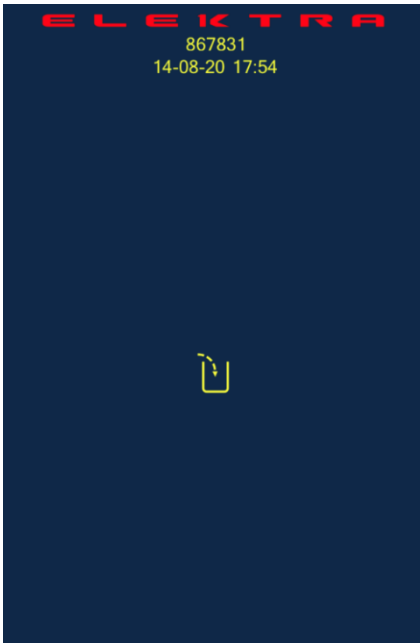
ボイラー加熱中の状態です。このときはマシンの緑のヒーターランプがゆっくり点滅します。

ボイラー加熱終了



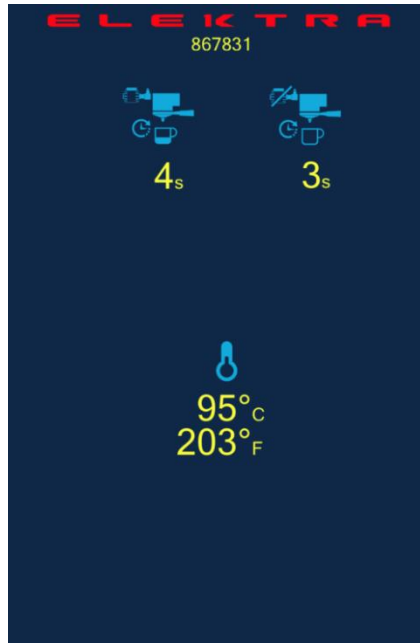
ボイラー温度が設定温度に達して抽出可能になった状態です。このとき本製品の緑のヒーターランプは消灯しています。

水タンク水位不足



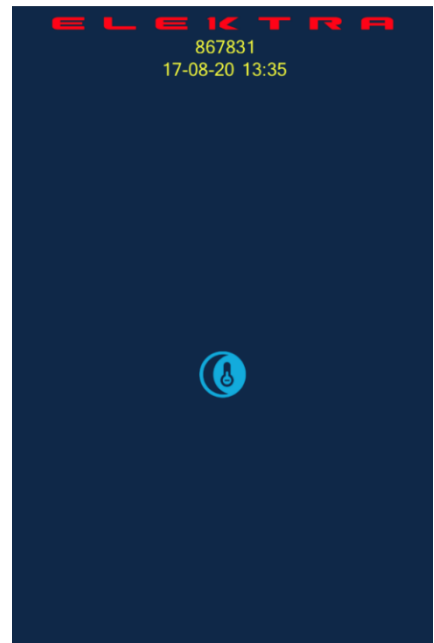
水タンク使用時、水量が少なくなった状態です。本体の赤い水タンクアラートランプが点灯します。

抽出中



抽出が開始された状態です。上の左が抽出している秒数、右が蒸らし時間、下がボイラー温度を示しています。

夜間待機モード











夜間待機の状態です。この時本製品のボイラーは停止し、抽出レバーを倒しても抽出は行なわれません。


■2ページ目の内容とマシンステータス


蒸らし時間とボイラー温度



- ・上のアイコン  で蒸らし時間、下のアイコン  でボイラー温度の設定を行ないます。
- ・蒸らし時間設定:  をタッチして増加、 をタッチして減少させ行ないます。
※秒単位、可変範囲 0 秒～20 秒。
- ・ボイラー温度設定: 蒸らし時間と同様にアイコンをタッチして行ないます。
※上段数字摂氏、下段数字華氏。可変範囲摂氏 70°C～95°C。
- ・値を変更したら、下の  アイコンが白く  になります。
 をタッチして  に変えると確定し設定が反映します。

【注意】

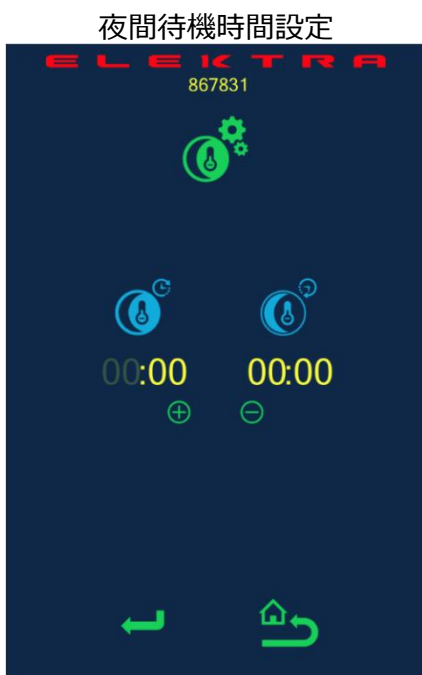
値を変えただけでは設定は反映しないので、値を変えたら必ず  をタッチして確定させてください。




- ・  アイコンをタッチすると1ページ目に戻ります。



【注意】蒸らし機能について

本製品は蒸らし抽出に水道圧を利用しており、水道圧の掛からないタンク式では蒸らし抽出機能はご利用いただけません。蒸らし機能をご利用いただく場合は水道直結方式でのご使用をご検討ください。

■3 ページ目の内容とマシンステータス





- ・夜間待機モードの使用と、開始時間と終了時間を設定します。
 のアイコンで夜間待機モードの有効と無効を設定し、 アイコンで夜間待機モードには入る時間、 アイコンで終了する時間を設定します。

- ・夜間待機モードを使用する際は、上のアイコンをタッチして **歯車の絵を白抜き**にし、下の をタッチして変更を確定します。再度タッチすると緑に変わり、 をタッチして確定すると夜間待機モードを使用しない状態に変わります。

歯車の絵が白抜きの状態

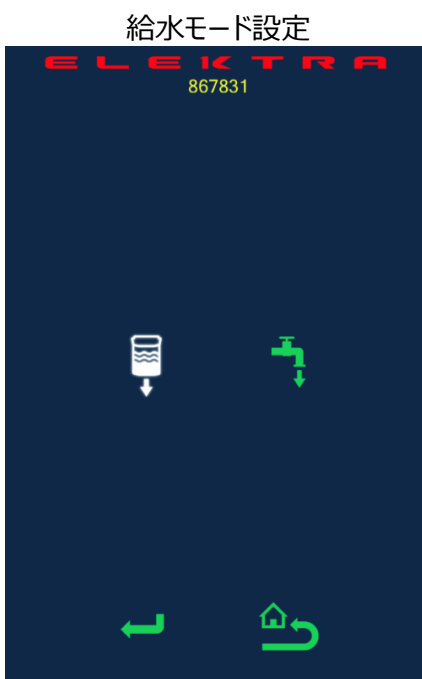





- ・このページに入ると時間を示す数字が点滅します。  をタッチして時刻を設定します。

【注意】

- ・レバーを倒した状態で夜間待機モードから抜けると抽出が開始されるので、夜間待機モードを使用する場合、各レバーを倒したままにしないように注意してください。

■4 ページ目の内容とマシンステータス



- ・給水モードを設定します。
- ・ が水タンク式、 が水道直結を示します。アイコンをタップして選択します。選択されている方が白抜きのアイコンに変わります(左の図では水タンク式が選択されています)。
- ・選択した後、下の タッチして決定を確定します。

【注意】


- ・給水モード変更などの一部のマシン設定は Wi-Fi 画面からのみ可能です。Wi-Fi 接続は常に行なえるように Wi-Fi キーは無くさないように保管してください。
- ・給水モードの変更は、Wi-Fi 画面の操作だけでなく設置工事を伴います。変更の際は弊社コールセンターまでご連絡ください。


■5 ページ目の内容とマシンステータス


メンテナンス画面




・抽出杯数やクリーニングアラート、フィルター交換アラートのリセットを行ないます。

・ はフィルター交換アラートリセットのアイコンです。最後のフィルター交換アラートのリセットから 2000 杯の抽出が行なわれた後、本製品はフィルター交換を示す赤い水タンクアラートランプが点滅します。フィルター交換後、タッチしてリセットを行ないます。





・ はクリーニングアラートリセットのアイコンです。最後のクリーニングアラートのリセットから 500 杯の抽出が行なわれた後、本製品は抽出口とホルダーのクリーニングを促す緑のヒーターランプの点滅を開始します。11 ページを参照いただき抽出口とホルダーのクリーニングを実施後、タッチしてリセットを行ないます。

・ は最後のリセットからの抽出杯数を示しています。リセットする場合タッチします。抽出杯数のカウントは 10 秒以上の抽出で行われます。10 秒未満では1杯にカウントされません。

・ のアイコンはタッチすると英文の取扱説明書を表示します。

トラブルシューティング

■ 以下の確認と処置を行ない、障害が復旧しない場合は弊社コールセンターにお問い合わせください。

トラブル内容	原因	処置
緑のヒーターランプと赤の水タンクアラートランプの両方が同時に点滅する。	Wi-Fi 接続最初の画面に原因を示すアイコンが表示されるので確認してください。	
	 内蔵電池の残量がない。	弊社コールセンターへ修理をご依頼ください。
	 ボイラー温度レベルエラー	一度主電源スイッチを切り、再度入れてボイラー温度が回復するか待ちます。回復しない場合、弊社コールセンターへご連絡ください。
	 抽出グループ温度。コントロールエラー。	一度電源を切り、再度入れてエラーが回復するか待ちます。回復が見られない場合、弊社コールセンターへご連絡ください。
	 ボイラー水量レベルエラー	一度主電源スイッチを切り、再度入れて水の取り込みが行なわれるか音を聞いて確認します。水の取り込みが行なわれない場合、弊社コールセンターへご連絡ください。

赤の水タンクアラートランプが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 最後のフィルター交換アラートリセットから 2000 杯以上の抽出があり、浄軟水フィルター交換の時期を知らせるアラート。 	<ul style="list-style-type: none"> 軟水フィルターを交換してください。(7 ページ参照) 交換後、フィルター交換アラートをリセットしてください。(16 ページ参照) ※電源投入時、3 秒ほど点灯して消灯しますが、これは異常ではありません。
緑のヒーターランプが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 最後のクリーニングカウンタリセットから 500 杯以上の抽出が行なわれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 約 500 杯の抽出がされ、クリーニング時期をお知らせするアラートです。10 ページを参照いただき抽出口とホルダーのクリーニングを実施ください。実施後、16 ページ参照いただきクリーニングアラートをリセットしてください。
スチームの抽出が出来ない。	<ul style="list-style-type: none"> 水が供給されていない、もしくはボイラー保護機能が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク式: 赤い水タンクアラートランプがついていないか、水がタンクに入っているか確認してください。 水道直結式: 元栓が閉じていないか、水が正常に供給されているか確認してください。回復しない場合、弊社コールセンターまでご連絡ください。
マシンが温まっているのにスチームが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 空気がスチーム径路から抜けきってない。 	<ul style="list-style-type: none"> スチームノズルからスチームが出て、空気がスチーム径路から抜ける事がわかるまでスチームレバーを倒し続けてください。
スチームノズルから湯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> スチームボイラーが湯で満たされている。 	<ul style="list-style-type: none"> スチームボイラーの電磁弁か電気系統に問題がある可能性があります。主電源スイッチを直ちに切って弊社コールセンターまでご連絡ください。
コーヒー抽出口から湯が出ない。 (コーヒーが抽出されない)	<ul style="list-style-type: none"> コーヒー抽出口径路に水が満たされていない。 コーヒー粉が細かすぎる。 水の径路に障害がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 湯が出るまでレバーを傾け続けてください。 コーヒー粉を適度に荒くします。 弊社コールセンターまでご連絡ください。
コーヒー抽出口から出る湯の温度がぬるい。	<ul style="list-style-type: none"> 連続抽出によるリカバリー不足。 ヒータリングシステムの障害。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑のヒーターランプが消えてボイラー温度が設定温度まで上がった後抽出してください。 弊社コールセンターまでご連絡ください。
コーヒーが抽出されない。	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水が少ない。 主電源スイッチが切れている。 コーヒー粉の挽き方が細かすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクアラートの赤いランプが点灯していないか確認してください。 主電源スイッチが入っているか確認してください。 挽き方の見直しをしてください。
蒸らしのお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク式で使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本製品は蒸らし抽出に水道圧を利用しており、水道圧の掛からないタンク式では蒸らし抽出機能はご利用いただけません。蒸らし機能をご利用いただく場合は水道直結方式でのご使用をご検討ください。
抽出圧力が 8~9Bar の間から外れている。	<ul style="list-style-type: none"> ポンプの校正が適正にされてない、もしくはポンプが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> ポンプ圧力が 12Bar を超えている場合、主電源スイッチを切り、弊社コールセンターまでご連絡ください。8Bar 以下の場合、主電源スイッチを切りしばらくしてから再度入れ圧力を確認してください。回復しない場合、電源を切り、弊社コールセンターまでご連絡ください。
抽出レバーの柄の部分破損した。	<ul style="list-style-type: none"> 長期の使用で劣化した。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社コールセンターまでご連絡ください。
マシン下、マシン周辺から水漏れした。	<ul style="list-style-type: none"> 給水径路の水漏れ、若しくは水タンクが破損している。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク式: 水タンクが破損していないか確認してください。水タンクの外側に水がこぼれていないか確認してください。 水道直結式: 本製品への水の経路から水が漏れていないか、本製品下の給水口から水が漏れていないか確認してください。これら異常のような異常がない場合、弊社コールセンターまでご連絡ください。

サポート用品

弊社 Web ページからお求め頂くか弊社コールセンターまでご連絡ください

Web ページアドレス：<https://www.brewmatic.co.jp/onlineshop/>

軟水フィルター
(品番：6600105)



クリーニングタブレット
(品番：93000)



洗浄用ブラシ
(品番：9501773)



ミルクチューブクリーナー
(品番：93100)



シャワースクリーン
(品番：6600113)



フィルターフォルダーガスケット
(品番：6600063)



保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理いたします。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

弊社コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社
045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問などありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|-------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 ELEKTRA VERVE(バーブ) |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(できるだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行なってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その本製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書(業務用機器)		
型 名	VERVE(バーブ)	
シリアル番号		
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	お 名 前	
	住 所	〒 電話()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマテック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマテックジャパン株式会社(以下「ブルーマテック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された本製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。)に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良などによりブルーマテックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行いません。(以下、「上限金額」といいます。)なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマテックが規定する出張修理対象本製品であるため、出張修理での保証修理を行いません。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品などの供給を行えない状態となった場合(事業承継などにより、メーカーと同水準・同条件にて修理を行なう者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマテックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 など。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用などの一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマテック弊社コールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマテック弊社コールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマテック弊社コールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(本製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマテックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行なうことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマテック弊社コールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所などの変更がある場合、本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報などを保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供するため、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関など)へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。

3. サービス案内およびキャンペーンなどの実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。

5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止(以下「開示など」といいます。)」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失など)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)&並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重大過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧などの不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩など)など、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷(車両、船舶への搭載、高温、高湿度などの特殊な環境での使用を含む。)
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 など)の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品(浄水カートリッジ、クリナー、フィルターペーパー、バックリング、ガスケット、電池、などブルーマチックジャパンが指定する部品)の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリングなどのヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由など)。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む)。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益など。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器などの本製品以外の本製品の故障、増設機器などの相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用など。
16. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シント・カバー類、塗装・刻印などを元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真实性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる本製品(シリアル番号などが異なる場合など)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、本製品の内蔵データなどから本製品と同一と確認ができる場合を除く。)

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。))に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金などを提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じたときから解除がなされたときまでに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていたときは、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定などについてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけないときは、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。))に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

メモ

メモ



ブルーマチックジャパン株式会社

<http://www.brewmatic.co.jp/>

本社:神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪営業所:大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

阿波座パークビル 5階

福岡営業所:福岡県福岡市博多区豊 1-5-24 丸信ビル 108



220127